

Isadora Neves Marques, *Vampires in Space*, 2022. Courtesy of the artist and Galleria Umberto di Marino.

In space, it's always night.

宇宙はいつでも夜。

イザドラ・ネヴェス・マルケス

Isadora Neves Marques

Vampires  
in  
Space  
and  
Other  
Fictions

2024年11月4日（月・振休）— 12月22日（日）

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

November 4 – December 22, 2024

Kyoto City University of Arts Art Gallery

10:00–18:00（月曜休館、11/4は開館）| 入場無料

10 AM – 6 PM | Closed on Mondays (Open on November 4) | Free admission

企画 | 岸本光大、京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

Curated by Mitsuhiro Kishimoto and Kyoto City University of Arts Art Gallery

主催 | 京都市立芸術大学 Organized by Kyoto City University of Arts

協力 | ガレリア・ウンベルト・ディ・マリノ Cooperation of Galleria Umberto di Marino

後援 | 在日ポルトガル大使館、カモンイス言語国際協力機構 Support from Embaixada de Portugal no Japão, Instituto Camões

@KCUA

京都市立芸術大学  
Kyoto City University of Arts

KYOGEEI  
TERRACE

u  
dm

Embaixada de Portugal no Japão  
1922 5.17.2022

CAMÕES  
CENTRO CULTURAL  
PORTUGAL  
PORTUGAL  
MINISTÉRIO DOS NEGÓCIOS ESTRANGEIROS

ヴァンパイア・イン・スペース

# Fiction Of and Space in Vampires

エコロジー、身体の定義、新たなテクノロジーの可能性と限界、クィアの権利といった現代社会が抱えるテーマに鋭く迫るイザドラ・ネヴェス・マルケス（1984年ポルトガル生まれ）の作品は、現在、国際的な舞台で大きな注目を集めています。映画、詩、小説、インスタレーションなど多彩な手法を用いて、フェミニズムや性の多様性、植民地後の社会文化などに対する関心をSF的アプローチと巧みに融合させた彼女の作品は、進行中のグローバルな課題に深い思索を通じて応答します。それらは包括的な社会を築くための議論や行動の必要性を問かけると同時に、未来に向かう私たちに新たな視点と想像力を呼び起こします。

ネヴェス・マルケスの活動を日本で初めて紹介する本展では、第59回ヴェネツィア・ビエンナーレで話題を呼んだ映像インスタレーション《Vampires in Space》(2022)を@KCUAの展示空間に合わせて再構成します。また、同作品と響き合う短編映像作品《The Ovary》(2021)や《Meat is Not Murder》(2021)もあわせて上映することで、彼女の作品世界をより多層的に紹介します。

## アーティスト・トーク

ネヴェス・マルケスが作品制作の背景やコンセプトについて語ります。芸術的アプローチやインスピレーションの源について深く掘り下げながら、鑑賞者と新たな視点を共有します。

登壇 | イザドラ・ネヴェス・マルケス

(進行: 岸本光大、通訳: 辻井美穂)

日時 | 11月4日(月) 16:00-18:00

会場 | 京都市立芸術大学 講義室1 (C棟1階)

## ミュージック・セッション

ネヴェス・マルケス作品に数多くの楽曲を提供するアーティスト、ファ・マリア (Fá Maria aka HAUT) がパフォーマンスを披露。深遠な映像世界を支える魅力的なサウンドが開催初日を彩ります。

出演 | ファ・マリア

日時 | 11月4日(月) 18:20-18:50

会場 | 京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

〒600-8601 京都府京都市下京区下之町57-1 京都市立芸術大学 C棟1階  
075-585-2010 <https://gallery.kcuu.ac.jp>

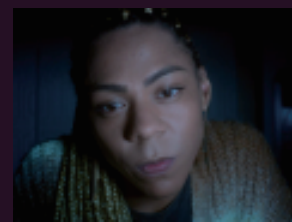
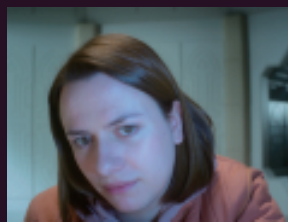
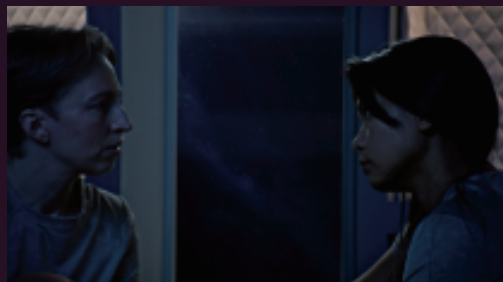
JR・近鉄・京都市営地下鉄烏丸線「京都」駅下車A3番出口より徒歩6分  
京阪「七条」駅1番出口より徒歩10分  
京都バス・京都バス「塩小路高台・京都市立芸術大学前」下車すぐ

観覧ページ

アクセス



SF的想像力で新しいウエルネスを探求する、ポルトガル代表の気鋭アーティスト日本初個展



## Vampires in Space (2022)

3チャンネル・ビデオ・インスタレーション、サラウンドサウンド、38分、22分、20分、ループ再生

「宇宙はいつでも夜。」未知の目的地を目指す宇宙船に乗り込んだのは、さまざまな事情を抱えた5人のヴァンパイアたち。地球での社会的な制約や期待から逃れるようにして新たな旅へ出発する。答えのない孤独な宇宙を漂い、より良い生き方を模索するオープンエンドな物語である。

本作では、ヴァンパイアが異なる能力や身体を持つ人々のメタファーとして描かれます。今日の人間関係や精神的健康、性同一性、クィアの生殖権、家族観に触れながら、現代社会における想像力の変容について考察します。作家自身のジェンダー体験に根ざしたSF的物語でもあり、身体と欲望に対する支配の歴史について政治的観点からの見直しを試みます。

## イザドラ・ネヴェス・マルケス | Isadora Neves Marques

1984年、ポルトガル・リスボン生まれ。リスボン大学で美術を学び、ロンドン大学ゴールドスミス校にてアートアンドポリティクス修士号を取得。映画監督、執筆家、視覚芸術家として、ジャンルの枠を超えた活動を展開する。近年は、カンヌ国際映画祭(国際批評家週間)やトロント国際映画祭など各地で作品を上映。ヴェネツィア・ビエンナーレ、ソフィア王妃芸術センター、テート・モダンなど、世界主要都市の美術館やギャラリーで作品を発表し、国際的なアートシーンにおいてその存在感を高めている。2023年にペドロ・ネヴェス・マルケスから名義を変更した。

<https://isadoranevesmarques.com/>